



弥富市

小学校再編整備方針



令和5年11月

弥富市教育委員会

目次

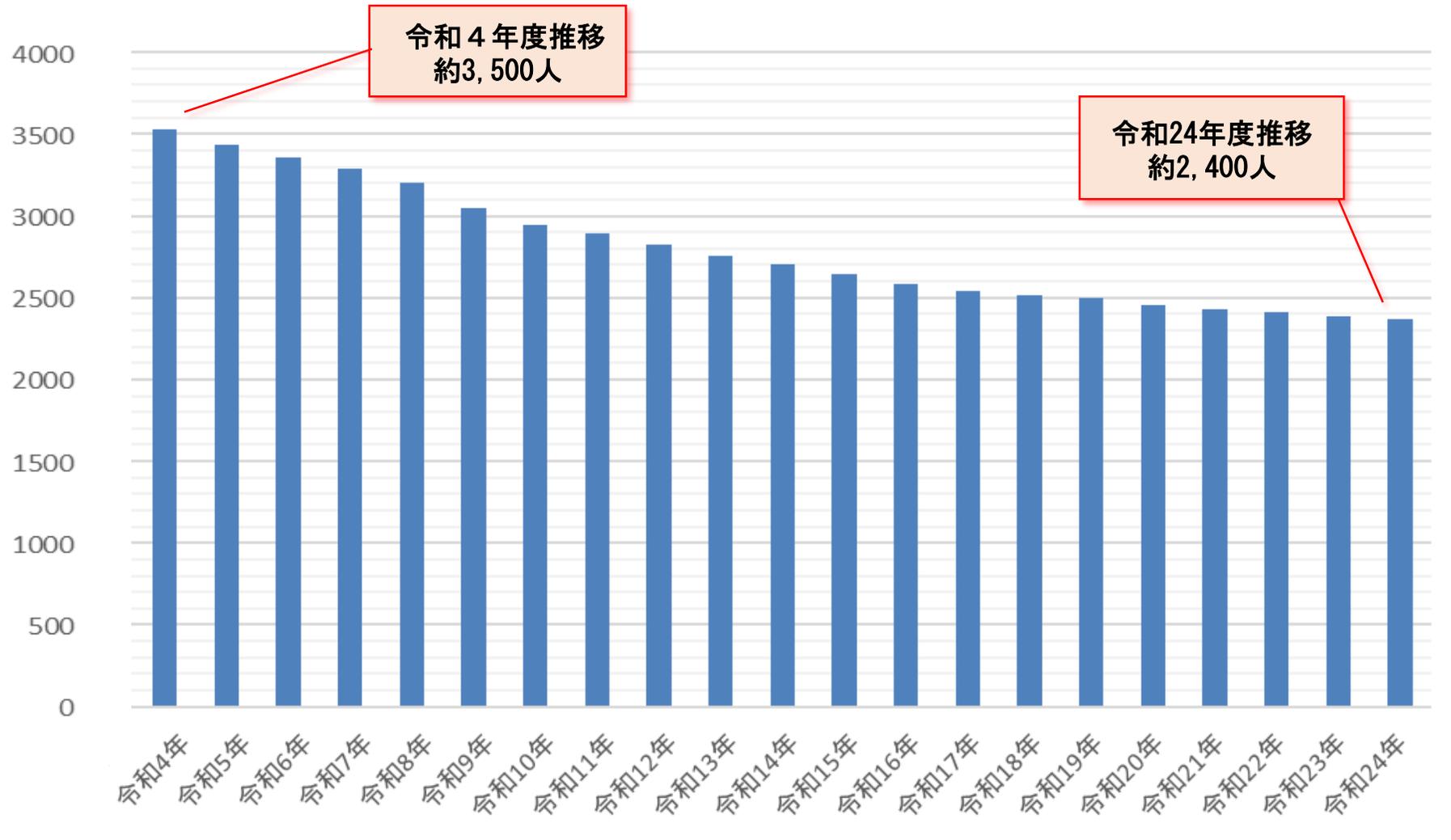
- 1 小学校再編の背景
- 2 小学校再編基本方針（小中学校未来構想より）
- 3 小学校再編整備方針
 - 3-1 再編校の設置場所
 - 3-2 再編校の施設整備
 - 3-3 再編校の目指す教育環境
- 4 今後の検討事項
- 5 今後のスケジュール



1 小学校再編の背景

● 弥富市における児童・生徒数の推移

弥富市でも小中学校の児童生徒数が減少し続けていくことが予測されます。



1 小学校再編の背景

●小学校8校の児童数推移

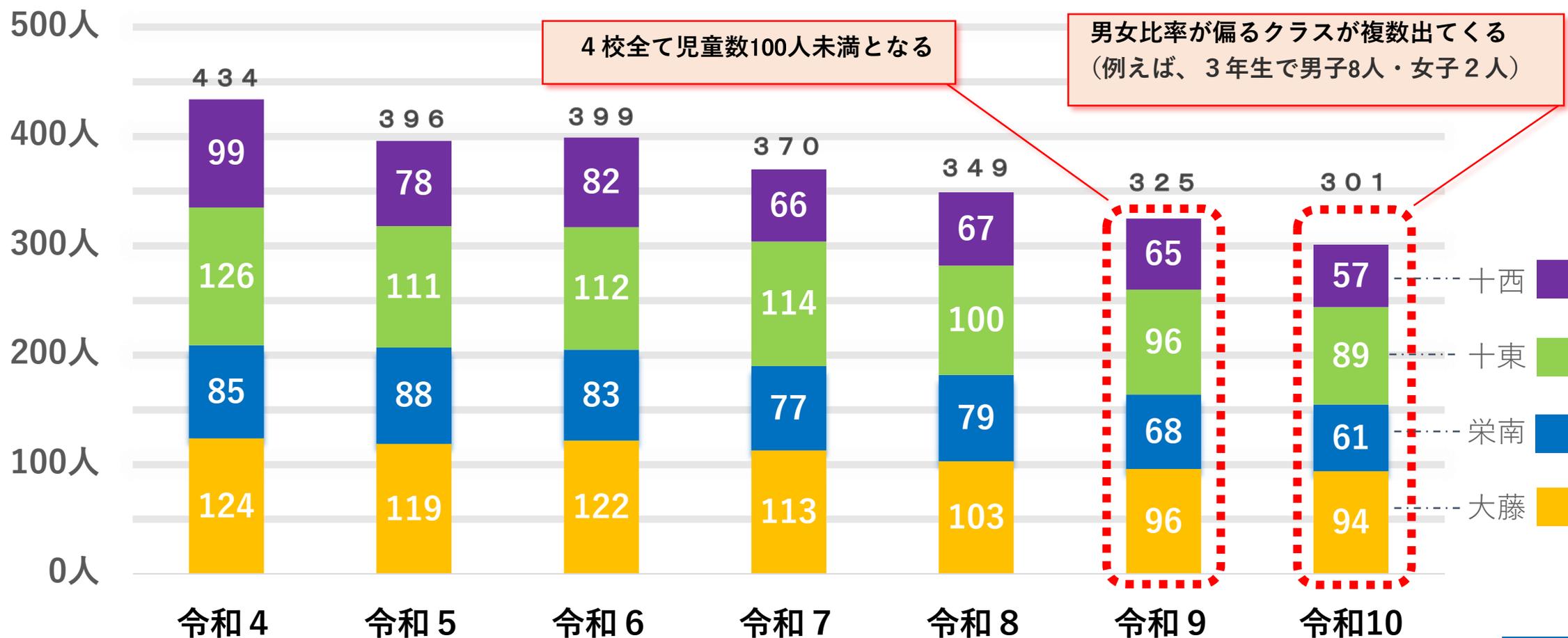
年度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和4年と令和10年の比
弥生	530	523	505	496	493	502	489	-7.7%
桜	431	388	381	384	379	380	387	-10.2%
大藤	124	119	122	113	103	96	94	-24.2%
栄南	85	88	83	77	79	68	61	-28.2%
白鳥	254	260	251	245	242	217	230	-9.4%
十四山東部	126	111	112	114	100	96	89	-29.4%
十四山西部	99	78	82	66	67	65	57	-42.4%
日の出	529	522	515	500	492	484	495	-6.4%
計	2,178	2,089	2,051	1,995	1,955	1,908	1,902	-12.7%

(単位：人)

1 小学校再編の背景

●小規模小学校における児童数の推移

弥富市の小規模小学校4校において、現在各学年1クラスとなっており、さらに児童数が減少し続け、5年後には各学校100人に満たない状況となります。



さらに、男女比率が偏るクラスが複数出てきます。

1 小学校再編の背景

●小規模小学校男女別児童数

●大藤小学校

(単位：人)

	年度	令和4	令和10	令和10 学年別					
				6年	5年	4年	3年	2年	1年
大藤	男子	64	50	5	11	8	9	9	8
	女子	60	44	15	10	7	4	5	3
	合計	124	94	20	21	15	13	14	11

●十四山東部小学校

(単位：人)

	年度	令和4	令和10	令和10 学年別					
				6年	5年	4年	3年	2年	1年
十東	男子	60	43	7	6	9	8	8	5
	女子	66	46	11	13	5	2	10	5
	合計	126	89	18	19	14	10	18	10

●栄南小学校

(単位：人)

	年度	令和4	令和10	令和10 学年別					
				6年	5年	4年	3年	2年	1年
栄南	男子	38	31	9	7	6	4	3	2
	女子	47	30	5	2	7	6	6	4
	合計	85	61	14	9	13	10	9	6

●十四山西部小学校

(単位：人)

	年度	令和4	令和10	令和10 学年別					
				6年	5年	4年	3年	2年	1年
十西	男子	46	25	2	8	0	5	5	5
	女子	53	32	5	6	6	6	3	6
	合計	99	57	7	14	6	11	8	11

2 再編基本方針（小中学校未来構想より）

弥富市がめざす 教育方針

- ・ 生きる力の
育成

小学校適正規模

- ・ 1学年2学級
以上が望まし
い

保護者意見

- ・ 現状維持に
比べ変化を望
む声

有識者意見

- ・ 地域の声を
大切に進める
等



【小学校再編基本方針】

令和10年4月

大藤、栄南、十四山東部、十四山西部小学校を再編

3 小学校再編整備方針

3-1 再編校の設置場所

- 再編校選定の検討1 各小学校区の公共施設保有量
- 再編校選定の検討2 子育て及び教育文化等の機能との連携について
- 再編校選定の検討3 児童居住地分布
- 再編校選定の検討4 将来負担等について



3-2 再編校の施設整備

- 将来に向け高機能で多様な教育環境の整備
- 地域と学校の協働関係を円滑にはぐくめる施設整備
- 安全安心な施設整備



3-3 再編校の目指す教育環境

- これからの時代に求められる教育
- 不安解消につながる取組

3 小学校再編整備方針

3-1 再編校の設置場所 再編校選定の検討1

●各小学校区の公共施設保有量

「学校」は、「子どもたちの学びの場」だけではなく、地域においてさまざまな役割を担っているため、他の公共施設も含めた総合的な視点が必要となる。



3 小学校再編整備方針

●公共施設保有量 内訳

【大藤小学校区】

公共施設名	面積 (m ²)	施設面積 参入
弥富中学校	11,380	○
大藤保育所	1,137	○
大藤児童館	426	○
大藤小学校	4,415	算入せず
鍋田支所	394	算入せず
農村環境改善センター	859	算入せず
合計	18,611	
積算した保有公共施設 面積（○を積算）	12,943	

【栄南小学校区】

公共施設名	面積 (m ²)	施設面積 参入
南部コミュニティセンター	2,729	○
栄南保育所	907	○
栄南児童館	377	○
のびのび園	1,072	○
いこいの里	1,905	○
南部地区防災センター	1,049	○
栄南小学校	5,444	算入せず
火葬場	1,521	算入せず
一般廃棄物処理場	544	算入せず
合計	15,548	
積算した保有公共施設面積 （○を積算）	8,039	

3 小学校再編整備方針

●公共施設保有量 内訳

【十四山東部小学校区】

公共施設名	面積 (㎡)	施設面積 参入
十四山総合福祉センター	2,551	○
十四山スポーツセンター	4,750	○
東部児童館	777	○
十四山支所	4,042	○
十四山中学校	6,382	算入せず
十四山東部小学校	4,249	算入せず
旧十四山産業会館	227	算入せず
合計	22,978	
積算した保有公共施設 面積（○を積算）	12,120	

【十四山西部小学校区】

公共施設名	面積 (㎡)	施設面積 参入
十四山保育所	1,789	○
西部児童クラブ	226	○
十四山西部小学校	3,626	算入せず
合計	5,641	
積算した保有公共施設面積 （○を積算）	2,015	

3 小学校再編整備方針

3-1 再編校の設置場所 再編校選定の検討1

●各小学校区の一人当たり公共施設保有量

学 校 区	学区人口 (人)	公共施設面積 (m ²)	1人当たり面積 (m ² /人)	小学校を算入した面積 (m ² /人)
大藤小学校区	2,903	12,943	4.46	5.98
栄南小学校区	2,726	8,039	3.00	4.95
十四山東部小学校区	2,966	12,120	4.09	5.52
十四山西部小学校区	2,153	2,015	0.96	2.62

※公共施設保有量の積算には、再編対象校、火葬場、一般廃棄物処理場、統廃合予定の鍋田支所、農村環境改善センター、旧十四山産業会館を除く

3 小学校再編整備方針

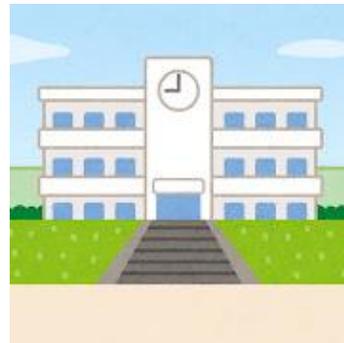
3-1 再編校の設置場所 再編校選定の検討2

●子育て及び教育文化等の機能との連携について

「弥富市立地適正化計画」におけるコンパクト・プラス・ネットワークの考え方を基に、**中心市街地（都市機能誘導区域）に近い方が、学校機能と子育て及び教育文化等の機能との連携がしやすくなる。**



児童館





3 小学校再編整備方針

3-1 再編校の設置場所 再編校選定の検討2

- 子育て及び教育文化等の機能との連携について

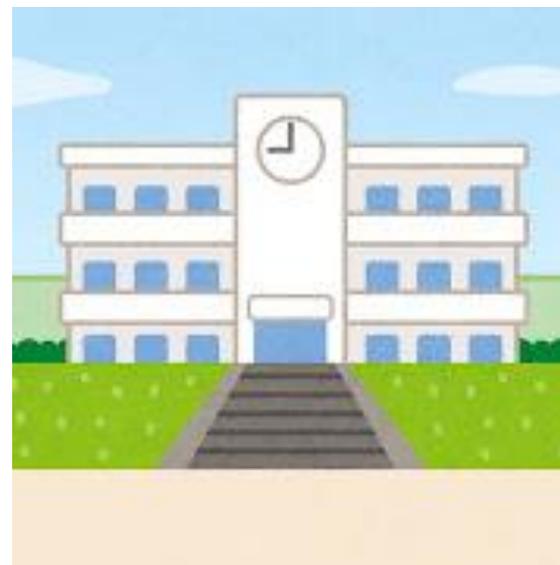
3 小学校再編整備方針

3-1 再編校の設置場所 再編校選定の検討3

●児童居住地分布

学区が広くなる→スクールバスは必須

- ・学校の近くにどれだけの児童が住んでいるか
(遠方から通う子がどれだけいるか) を考慮する必要がある



3 小学校再編整備方針

3-1 再編校の設置場所 再編校選定の検討3

●児童居住地分布

再編時期（令和10年度）における再編対象児童の居住地分布をもとに、各小規模小学校4校の半径1.5キロ圏内に居住する児童数

学校名（児童数（人））	1.5km圏内 児童数合 計（人）	内 訳（人）			
		大藤小 学区	栄南小 学区	十四山東 部小学区	十四山西 部小学区
大藤小学校（94）	74	66	1	7	0
栄南小学校（61）	65	20	45	0	0
十四山東部小学校（89）	91	0	0	79	12
十四山西部小学校（57）	96	13	0	31	52

3 小学校再編整備方針

3-1 再編校の設置場所 再編校選定の検討4

●将来負担等について

- 将来的な住民負担（財政的な負担）考慮
- 少子化に伴う人口減少（人口減少率）等の観点を考慮
- 新たに用地を購入して、再編校を整備するのはスケジュール的に困難



用地を購入して新たな校舎を建設することは選択肢とするべきではなく、**既存建物を利活用**し、長寿命化及び防災拠点となるべく大規模修繕工事等を前提に考えることが望ましい。

3 小学校再編整備方針

●各設置候補場所の将来負担比較

設置候補場所	敷地面積(m ²)	校舎	体育館	改修費用の目安 (億円)
大藤小学校	16,712	長寿+増築	—————	8.7
栄南小学校	16,987	長寿+増築	—————	8.8
十四山東部小学校	23,973	長寿+増築	新築	12.4
十四山西部小学校	21,108	長寿+増築	—————	8.7
日の出小学校	26,946	増築	—————	3.7
十四山中学校	29,216	新築	新築	22.0

3 小学校再編整備方針

●各設置候補場所の課題

再編校の位置	課題
大藤小学校	<ul style="list-style-type: none">・北西棟校舎の老朽化・校舎増築後にグラウンドが狭くなる・学校敷地接している道路が狭い・バスターミナルが別敷地
栄南小学校	<ul style="list-style-type: none">・校舎増築後にグラウンドが狭くなる・屋上避難場所が未設置・バスターミナルが別敷地
十四山東部小学校	<ul style="list-style-type: none">・講堂が体育館としては狭く老朽化・屋上避難場所が未設置・北校舎の老朽化・北校舎1階が児童クラブ
十四山西部小学校	<ul style="list-style-type: none">・屋上避難場所が未設置
日の出小学校	<ul style="list-style-type: none">・1学年が4から5クラスの大きな学校となる・増築が必要となる
十四山中学校	<ul style="list-style-type: none">・体育館の老朽化

3 小学校再編整備方針

●再編校の設置場所 まとめ

公共施設保有量



十四山西部小学校が適している

十四山西部小学校が適している



児童居住地分布

子育て及び教育文化等の機能との連携



大藤小・十四山西部小学校が適している

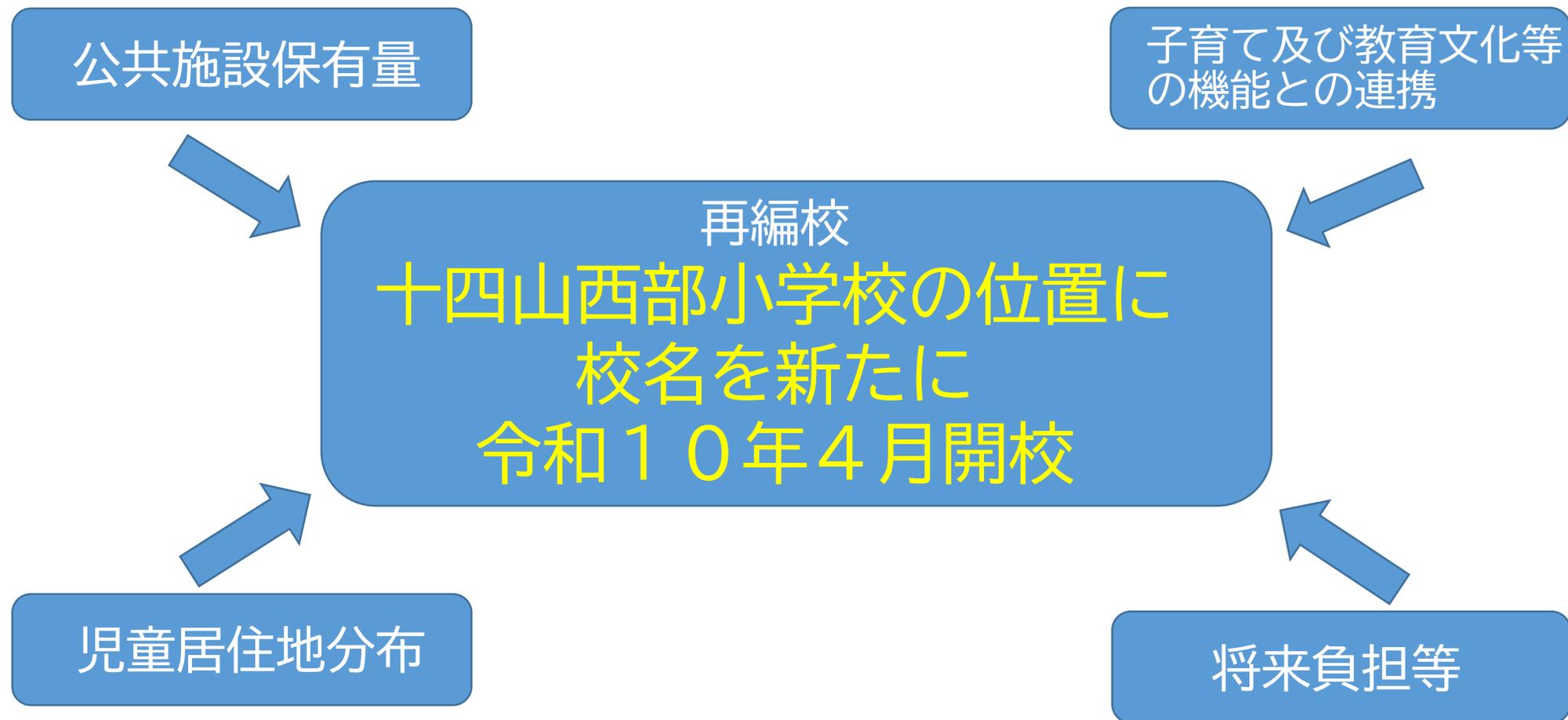
大藤小・栄南小・十四山西部小学校が適している



将来負担等

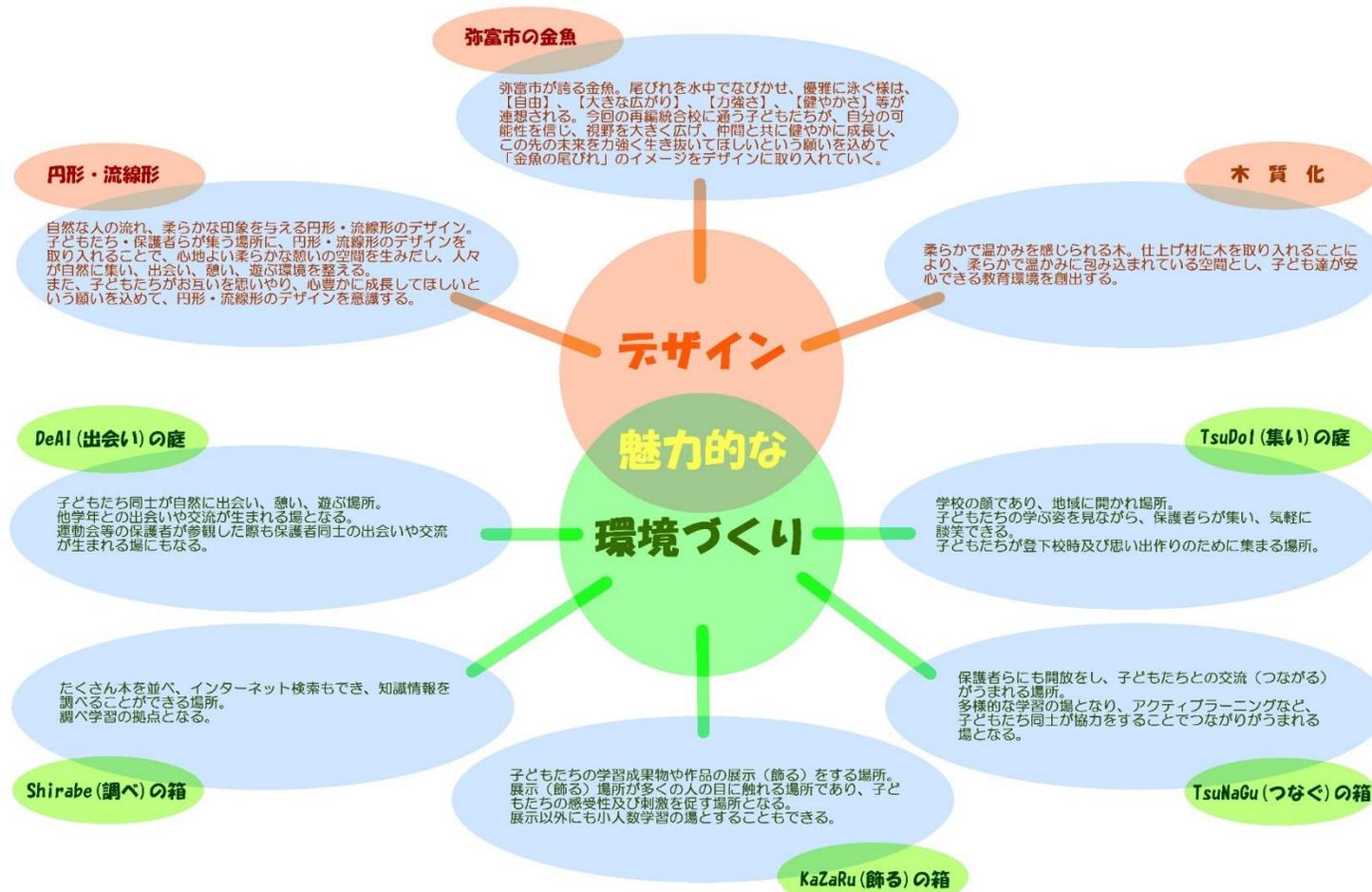
3 小学校再編整備方針

●再編校の設置場所 まとめ



3 小学校再編整備方針

3-2 再編校の施設整備 魅力的な再編校の実現に向けて



3 小学校再編整備方針

3-2 再編校の施設整備

魅力的な再編校の実現に向けて

●将来に向け高機能で多様な教育環境の整備

- ・ 教室の木質化等暖かみのある空間と多様な経験と思い出づくりができる空間の整備
- ・ アクティブラーニングなど多様な学習の場を提供



< 新築校舎 >



< 既存校舎 (改修) >

3 小学校再編整備方針

3-2 再編校の施設整備

魅力的な再編校の実現に向けて

- 地域と学校の協働関係を円滑に育める施設整備
 - ・ 保護者及び地域に開かれたスペースの整備



(新築校舎)



(1階：図書室)

※地域や保護者も利用可能

3 小学校再編整備方針

3-2 再編校の施設整備

魅力的な再編校の実現に向けて

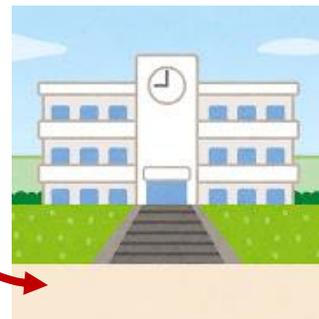
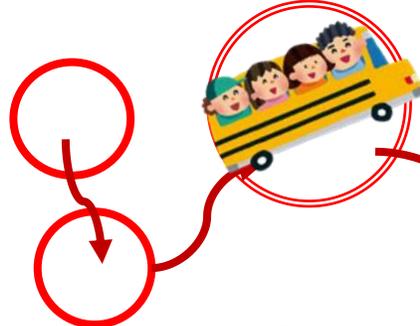
●安全安心な施設整備

- ・ 児童が避難する津波高潮避難場所の確保
- ・ 災害時の地域防災拠点
- ・ 安全な登下校のためスクールバス導入

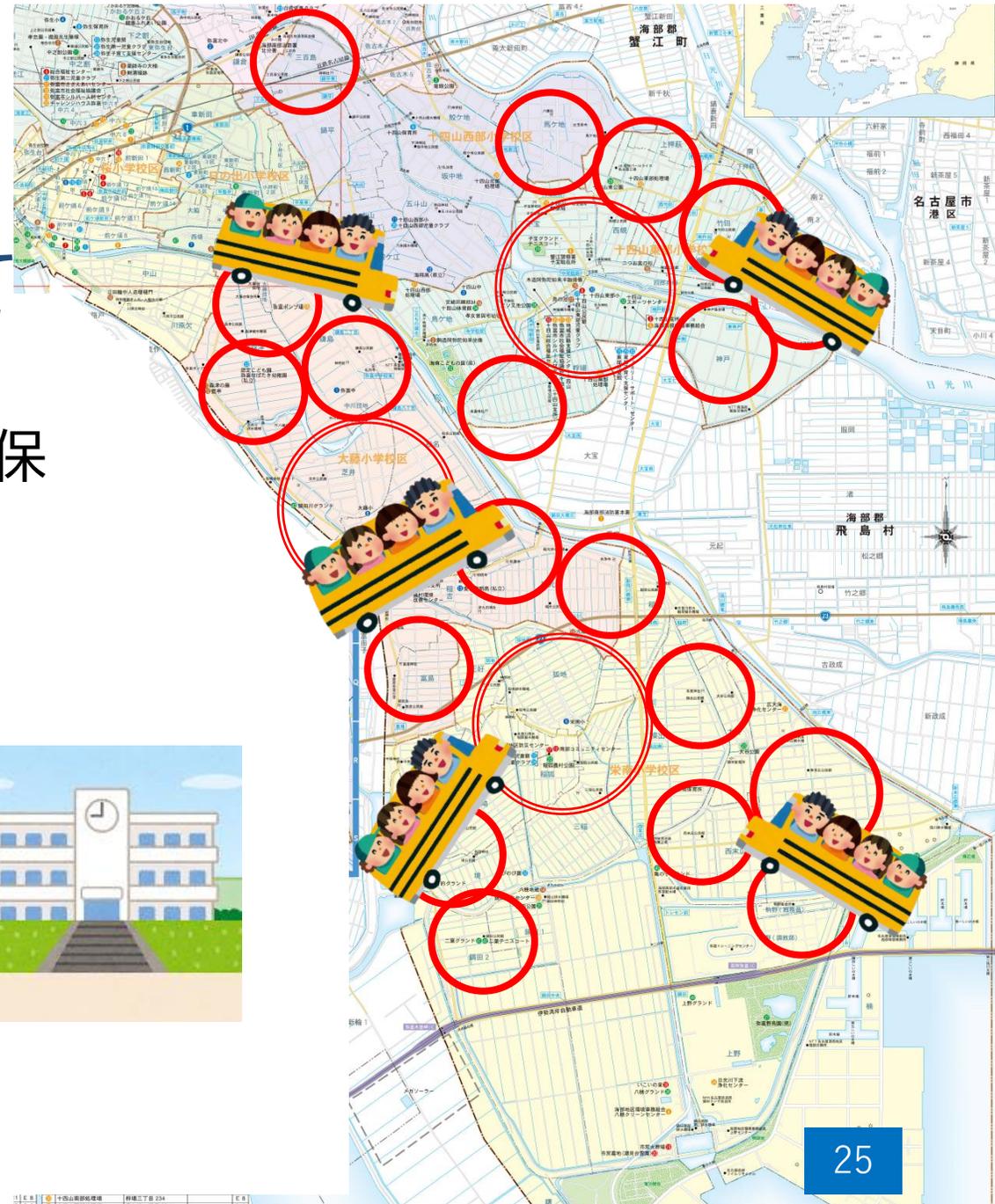


屋上避難場所

学校バス停

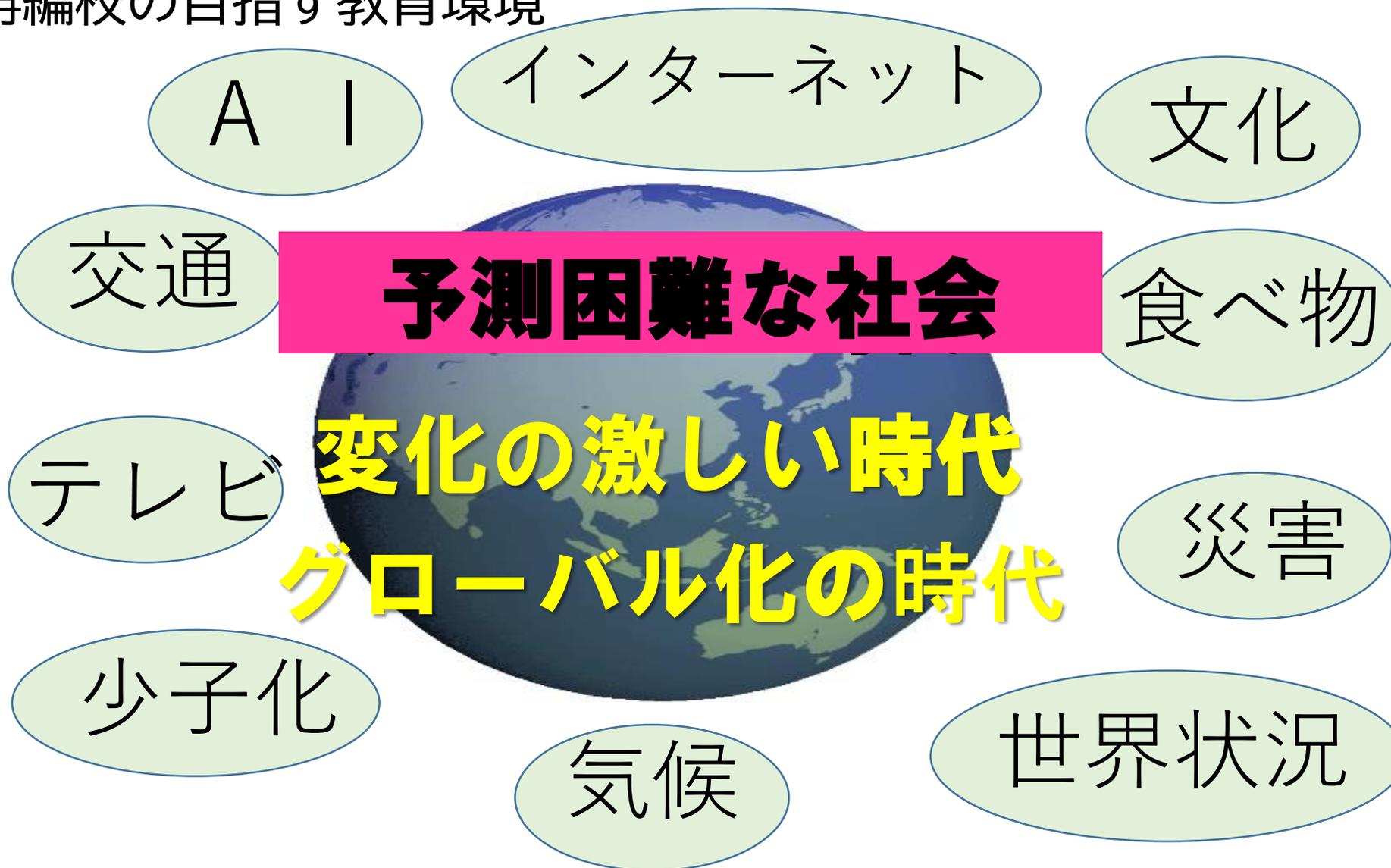


各地区バス停（集合場所）



3 小学校再編整備方針

3-3 再編校の目指す教育環境



3 小学校再編整備方針

3-3 再編校の目指す教育環境

予測困難な社会をたくましく生き抜くための力



知識・技能

「生きる力」

思考力・判断力・
表現力等



学びに向かう力・人間力

3 小学校再編整備方針

3-3 再編校の目指す教育環境

これからの時代に求められる教育



そのためには…

多様な価値観をもった子どもが意見を出し合い、
折り合いをつけながら、
解決策を見出していくことが求められており、
一定の集団規模が必要となる。

3 小学校再編整備方針

3-3 再編校の目指す教育環境

これからの時代に求められる教育

【学級数・児童数が増えることでできること】
～児童～

- ・ 友達が増え、多様性に触れることができる
- ・ クラス替えにより、新しい人間関係が構築できる



3 小学校再編整備方針

3-3 再編校の目指す教育環境

これからの時代に求められる教育

【学級数・児童数が増えることでできること】
～児童～

- ・ 体育のボール競技や音楽の合唱、グループでの話し合いなど、集団で行う教育活動の範囲が広がり、内容も充実する。
- ・ 中学校進学時の負担(中1ギャップ)が抑えられる



3 小学校再編整備方針

3-3 再編校の目指す教育環境

これからの時代に求められる教育

【学級数・児童数が増えることでできること】
～学校運営～



- 同学年の担任同士で相談しながら、授業の準備や学年行事等の準備ができる。
- 教員体制が拡充することにより交換授業が可能となる。
教員それぞれの専門性を活かすことができる。
- 教職員一人あたりの校務負担や行事に関わる負担が軽減できる。

3 小学校再編整備方針

3-3 再編校の目指す教育環境

これからの時代に求められる教育

【学級数・児童数が増えることでできること】
～学校運営～



教員間の連携の充実により、多くの目で
子どもたちを見守り、支援・指導ができる

3 小学校再編整備方針

3-3 再編校の目指す教育環境

これからの時代に求められる教育

【4小学校の特色を生かしたカリキュラムマネジメント】

地域に愛される学校

学区が広がった強みを活かして

- ・大藤・栄南・十東・十西小学区のそれぞれの地域の良さ、地域の特色を学び、地域の人々との交流を行う機会を、生活科、社会科、総合的な学習等において計画し、実施する
- ・自身の地域を誇りに思うとともに、互いの地域を尊重する態度を育てていく

3 小学校再編整備方針

3-3 再編校の目指す教育環境

保育所・小学校保護者役員 意見交換会での声

地域の方との交流をずっと続けてほしい。
ふれあいを楽しみにしていた

「縦割り活動」は
とてもよいので、新しい小学校でも取り
組んでほしい

中学校につながるの
で、再編に直接関わら
ない学年も交流を
やってほしい



3 小学校再編整備方針

3-3 再編校の目指す教育環境 不安解消につながる取組

- ・ 交流授業や合同の学校行事の実施
- ・ スクールカウンセラーの配置拡充など
教育相談体制の充実
- ・ 特別支援学級在籍児童への配慮・支援
- ・ 4校の教職員間の連携
- ・ 教職員配置の配慮 等



3 小学校再編整備方針

3-3 再編校の目指す教育環境 小学校再編の基本方針

令和10年4月

大藤・栄南・十四山東部・十四山西部小学校

4校それぞれの特色を活かしつつ、
魅力的な再編校の設立を目指します！



4 今後の検討事項

教育関係

- ・校名、校歌
- ・児童交流事業、PTA交流事業、式典関係（閉校・開校）
- ・通学路点検、スクールバス路線、停留所の位置

施設関係

- ・長寿命化改良工事・リフォーム工事、一部校舎新築
- ・ネットワーク整備工事
- ・バスターミナル整備工事

その他

- ・児童クラブ
- ・地域コミュニティ
- ・避難場所の確保



その他検討事項の方針

児童クラブについて

- ・大藤児童クラブ及び栄南児童クラブは、現状のままとします。
- ・十四山東部児童クラブを廃止し、十四山西部児童クラブに統合していきます。

地域コミュニティについて

- ・コミュニティ推進協議会については、現在のエリア及び枠組みで継続していきたいと考えています。

避難所及び避難場所について

- ・再編統合校に避難場所を整備するとともに、学校以外の公共施設も含めて、弥富市全域において、避難所及び避難場所の範囲を見直しております。

5 今後のスケジュール

令和5年度

- 5月～9月 保護者・地域説明会、議会報告
- 10月 パブリックコメント
- 11月 整備方針決定、公表

令和6年度以降

- 保護者・地域・学校による再編検討委員会等設置、交流授業、校名決定
- 施設設計、施設工事
- 閉校式・開校式

令和10年4月 開校

